

◆ 令和3年度 鳴門市 部長実行宣言 ◆

(経済建設部)

経済建設部長

浜原 宏一

部長コメント(基本姿勢、基本目標など) … キャッチフレーズは「活力と魅力に満ち、未来につながるまちづくり」

経済建設部は、建設部門として「まちづくり課」、「土木課」、「下水道課」、「公園緑地課」の4課と経済部門として「商工政策課」、「観光振興課」、「農林水産課」、「水産振興室」の3課1室で構成されています。

建設部門では、安心して快適に暮らせるための社会資本の計画的な整備と維持管理に努めており、経済部門では、1次産業から3次産業まで幅広く産業の振興や地域経済の活性化に努めています。

今年度は、特に新型コロナウイルス感染症に対応する経済対策や産業振興施策、また将来を見据えたまちづくりに向けた計画事業に重点的に取り組んでまいります。



重点項目(最優先)	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画策定事業	<p>□現状 人口減少や少子高齢化が進む中、計画策定時(H23.3)より10年が経過し、社会経済情勢の変化への対応や持続可能な都市経営を実現する観点から、マスタープランの見直しとともに立地適正化計画の策定が必要となっている。</p> <p>■課題 関連計画との整合性を図りつつ、計画策定を行う必要がある。また、20年後を見据え、関係団体や住民への意見聴取及び説明等を十分に行う必要がある。</p>	<p>① 計画的なまちづくりに必要な市民意見を参考とするため、まちづくり市民意識調査を実施する。</p> <p>② まちづくりに資する各関係団体へ事前説明と意見交換を実施する。</p> <p>③ R4末の計画策定に向け、関連部局と協議を行うとともに、全体構想や防災指針等の原案を作成する。</p>	<p>① 関係所属と連携し、まちづくりに関する質問項目を取りまとめる。3,000人程度を対象とした無作為抽出方式によるアンケート調査を実施する。</p> <p>② 関係所属と日程調整し、各関係団体へ事前説明会及び意見交換会を実施し、頂いたご意見について取りまとめ、計画等に反映する。</p> <p>③ 他のまちづくり計画と整合性を図りつつ、都市計画審議会に諮り、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画における全体方針等の原案として取りまとめる。</p>

◆ 令和3年度 鳴門市 部長実行宣言 ◆

(経済建設部)

経済建設部長
浜原 宏一

重点項目(特に推進すべき)	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
新型コロナウイルスに係る経済対策事業	<p>□現状 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、市内飲食事業等の様々な企業事業者や市民が影響を受けている。 また、感染拡大を受けて、地方へサテライトオフィスを設置する企業のニーズが高まっている。</p> <p>■課題 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、昨年に引き続き、市内の飲食店をはじめとする事業者に向けた経済対策や、市民の生活支援につながる事業が必要である。</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民生活の支援につながる事業を引き続き実施する。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している中小企業等に対し、事業継続のために行う新たな取組みを支援する。</p> <p>③ 本市の伝統的工芸品である大谷焼が今後も事業継続できるように、認知度向上などの取組みを支援する。</p> <p>④ 都市部からのサテライトオフィスを誘致し、定住人口の増加や雇用創出などにつなげる。</p>	<p>① 全市民を対象にうずとく商品券を配布するとともに、引き続きフェーズに応じた支援を適宜検討し、実施する。</p> <p>② 中小企業等が事業継続を行うため実施する、新たな取組みを募集する。応募があった内容は、専門家等による審査会を行い、支援対象者を決定し、事業助成を行う。</p> <p>③ 大谷焼の認知度向上のため、リーフレットの作成などを行い、事業継続のための支援を行う。</p> <p>④ 都市部からのサテライトオフィス受け入れのため、補助制度を創設するとともに、情報発信のための新規Webサイトを開設する。</p>
コロナ禍における観光振興の推進	<p>□現状 新型コロナウイルス感染症により、観光業は長期にわたり大きな影響を受けており、観光客や宿泊者の減少が続いている。</p> <p>■課題 新型コロナウイルス感染症の収束期を見据え、観光客の受入環境整備の強化、観光情報の効果的な発信を行う必要がある。</p>	<p>① 新型コロナ感染症の収束期を見据え、「国内市場の個人旅行」をターゲットに、グルメや特産品を活かした情報発信や受入環境整備など、感染状況に応じた誘客促進を図る。</p>	<p>① 新型コロナ感染症の収束期を見据え、特産品のネット販売情報の集約や広域連携を活かしたツアー造成を行うなど、感染状況に関わらず実施できる施策を検討し、情報発信による認知度向上を図る。</p> <p>② V字回復期においては、助成制度の創設等ニーズが高まるとされる個人旅行者に対する観光誘客の促進やSNS等を活用した発信力の強化を図る。</p> <p>③ 受入環境整備として、個人旅行客の多種多様な趣向に沿った情報提供が行えるよう、鳴門市多言語観光情報サイト内における観光コンテンツの充実を図る。</p>

◆ 令和3年度 鳴門市 部長実行宣言 ◆

(経済建設部)

経済建設部長

浜原 宏一

重点項目(特に推進すべき)	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
<p>中長期を見据えた鳴門市農漁業振興計画の策定について</p>	<p>□現状 新型コロナウイルス感染症の拡大により、生産者や農協・漁協等の生産者団体の経営に影響が生じている。</p> <p>■課題 新型コロナウイルス感染症による一次産業への今後の影響も考慮し、現在の農漁業経営を見据えた施策の整理を行い、各種支援制度についても整理を行う必要がある。</p>	<p>① 国・県の支援制度の情報収集に努め、市公式ウェブサイト等での周知を図る。</p> <p>② 農業の持続的な発展を図るため、また新型コロナウイルス感染症による農業者、農業者団体への影響も考慮し、将来にわたる施策の方針等を示した計画の策定を行う。</p> <p>③ 水産業の持続的な発展を図るため、また新型コロナウイルス感染症による漁業者、漁業者団体等への影響も考慮し、将来にわたる施策の方針や支援制度を整理した計画の策定を行う。</p>	<p>① 国・県の支援制度の情報収集に努め、速やかに市公式ウェブサイト等での周知を行うとともに効果的な事業実施に努める。</p> <p>② (仮称)鳴門市農業振興計画の策定 各種農業関係施策及び現在取り組んでいる生産費抑制策や今後取り組んでいく農業振興策を整理した計画書案を作成する。既存の農業関係計画との整合性を図りながら、新型コロナウイルス感染症の影響についても市内JA等からの情報収集にも努め、計画に反映する。</p> <p>③ (仮称)鳴門市水産振興計画の策定 国・県の支援制度の情報や、県内外の事例等の情報収集を行い、計画書案の作成を進める。 水産振興に関する意見をはじめ新型コロナウイルス感染症の影響についても市内各漁協からの情報収集に努め、その対策を計画に反映する。</p>